

JR連合

社員で考え社員のための労働運動を目指す企業内労働組合。
心とところをつなぐ相互扶助活動と、公正な社会を創ります。

ジェイアール・イーストユニオン
仙台地方本部



JREユニオン仙台地本

〒984-0051 宮城県仙台市若林区新寺2丁目1-20 桜井コーポ405号室

TEL 022(352)4679 (FAX兼用)

発行責任者 水間 勉
編集責任者 斎藤 勝彦



平成28年の新年を迎えるにあたり、年頭のご挨拶を申し上げますとともに、旧年中に賜りました組合員の諸活動に対するご支援ご協力に心より感謝を申し上げます。

年頭のあいさつ
仙台地方本部執行委員長 水間 勉

まず、さて、昨年は、戦後70年、阪神淡路大震災20年であると同時に、羽越線脱線事故から10年を迎えるという節目でもありました。事故を風化させることなく、改めて事故を教訓として更なる安全、安定輸送に向け決意を新たにしました。私たちが目指すのは「組合員と家族の幸せ」の源泉は、安全安定輸送、健全経営、そして健全で強固な労使関係にあります。本年も私たちは様々な組織課題に挑んで

いきます。

第一の課題は組織拡大への取組です。

私たちは、先輩諸氏が幾多の困難を乗り越え、JR東日本の健全な労使関係を求め運動を継続してきました。原点を、今一度振り返りつつ、その歴史的意義や今日の使命と役割を自覚し合って、前向きに一步一步と着実な歩みを積み重ねていきます。「至誠を尽くせば、人の心は必ず動く」これから先も平坦でない厳しい対応が迫られるでしょうが、



仙台地方本部
新春講演会・旗開き
1月23日(土)
ホテル レオパレス

新春講演会13:30~15:00
JR連合 川村事務局長

旗開き 15:10~
会費 3,000円

決して怯んだり臆することなく、様々な課題に果敢に挑戦し「同志・連帯」を最大の武器として力強く前進してまいりましょう。

第二の課題は「安全の確立」です。

昨年は残念ながら大きな事故や労働災害が発生しました。4月12日、山手線神田～秋葉原駅間で電化柱が倒壊し、あわや大惨事となる事故が発生しました。また、ゴールデンウィークの初日、4月29日には、東北新幹線郡山駅構内で架線が切断、約4時間半運転を見合わせる輸送障害が発生しています。そして、11月22日は社員の死亡事故が発生しました。



会社は「社員の皆さんへ」で「凡事を徹底すること」「危険を感じたら列車を止めること」を訴えています。なぜ未然に防ぐことができなかったのか、問題点は何なのか、現場でしっかりと議論し、再発防止につなげる職場風土の構築に全員で取り組むことが最重要

であると考えます。多発している事態を重く受け止め、安全確立の取り組みが道半ばであることを認識し、より実効性の高い安全対策を求めなければなりません。

また、労働者の安全を守る取り組みを進めなければなりません。職場の目線に立つたチェック機能の強化が求められます。また組合員の担う業務内容が質・量とも重要となる中、安心して働く環境を整えることの重要性です。「働くルール」をよく理解し順守する取り組みを進めましょう。今年もすべての組合員に対しイーストユニオン運動への積極

的な参加を要請します。

民間企業にふさわしい労働組合を築くため共に汗を流そうではありませんか。

最後に、本年が組合員とその家族の皆様にとって、幸多き年となりますようご祈念申し上げますとともに、引き続きイーストユニオン運動に対する皆様のご理解・ご協力をお願い申し上げます。上げ年頭のご挨拶とします。



今後の主な行事予定

- | | |
|----------------|-------------------------|
| 1月23日(土) 13:30 | 仙台地本 新春講演会・旗開き(仙台レオパレス) |
| 2月13日(土) | 中央本部 第2回中央委員会(東京) |
| 2月28日(日) 13:30 | 仙台地本 第2回地方委員会(仙台レオパレス) |

謹んで新年のお慶びを申し上げます。

ジェイアール・イーストユニオン仙台地方本部

執行委員長

水間 勉

副執行委員長

三瓶信次
鈴木義一

事務局長

瀬戸信作

執行委員

組織部長 添田寿男

政策部長 関根隆文

財務部長 小林俊一

業務部長 柗窪吉則

教宣部長 斎藤勝彦

調査部長 清水孝雄

会計監査

渡辺 近
大泉浩康